

2013年度 決算説明資料

2014年5月8日

株式会社 IHI



2014年3月期 連結決算の概要

2013年度 売上平均レート(米ドル) 99.05円

2014年2月4日公表 業績予想

(億円)

	2012年度	2013年度	増減
受注高	12,256	14,400 14,589	189 2,333
売上高	12,560	13,100 13,040	▲60 479
営業利益	421	530 532	2 111
経常利益	362	470 532	62 170
税金等調整前 当期純利益	572	604	32
当期純利益	333	270 331	61 ▲2

特段の記載がない限り、各項目の数値は億円未満を切り捨てて表示しております。

営業外損益及び特別損益

営業外損益 (億円)

	2012年度	2013年度	増減
金融収支	▲ 15	0	15
持分法による投資損益	43	53	10
為替差損益	45	42	▲ 3
その他	▲ 132	▲ 96	35
営業外損益	▲ 59	0	58

特別損益

	2012年度	2013年度	増減
事業分離における移転利益	—	75	75
固定資産売却益	141	—	▲ 141
持分変動利益	118	—	▲ 118
特別利益	259	75	▲ 184
減損損失	▲ 12	▲ 2	10
投資有価証券評価損	▲ 14	—	14
環境保全対策費用	▲ 12	—	12
関係会社損失引当金繰入額	▲ 9	—	9
特別損失	▲ 49	▲ 2	47
特別損益	210	72	▲ 137

報告セグメント別 受注高

2014年2月4日公表 業績予想

(億円)

	2012年度	2013年度	増減
資源・エネルギー・環境	3,003	4,900 4,946	46 1,942
社会基盤・海洋	1,126	1,700 1,755	55 629
産業システム・汎用機械	3,581	4,000 3,706	▲ 294 125
航空・宇宙・防衛	3,448	3,800 4,069	269 621
報告セグメント計	11,159	14,400 14,478	78 3,318
その他	624	623	▲ 1
(船舶・海洋)	1,161	-	▲ 1,161
調整額	▲ 689	▲ 512	177
合計	12,256	14,400 14,589	189 2,333

2012年度の数値は、新報告セグメントに組替えて表示しております。

報告セグメント別 売上高・営業利益

2014年2月4日公表 業績予想

(億円)

	売上高			営業利益		
	2012年度	2013年度	増減	2012年度	2013年度	増減
資源・エネルギー・ 環境	3,215	3,440	225	162	116	▲ 45
社会基盤・海洋	1,178	1,503	324	15	23	8
産業システム・ 汎用機械	3,825	3,978	152	136	151	14
航空・宇宙・防衛	3,384	4,060	676	154	367	213
報告セグメント計	11,604	12,983	1,378	468	658	190
その他	608	589	▲ 18	15	19	3
(船舶・海洋)	1,173	-	▲ 1,173	65	-	▲ 65
調整額	▲ 825	▲ 532	293	▲ 127	▲ 144	▲ 17
合計	12,560	13,040	479	421	532	111

2012年度の数値は、新報告セグメントに組替えて表示しております。

営業利益の前期比増減要因(報告セグメント別)

(億円)

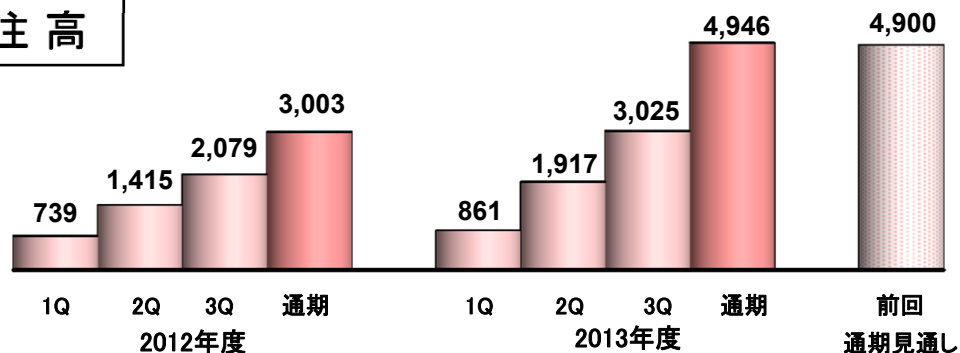
	売上高の 増 減	工事採算 の変動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー・環境	8	▲ 53	45	▲ 45	▲ 45
社会基盤・海洋	29	▲ 37	19	▲ 3	8
産業システム・汎用機械	70	65	12	▲ 133	14
航空・宇宙・防衛	37	73	116	▲ 13	213
報告セグメント計	144	48	192	▲ 194	190
そ の 他	▲ 2	▲ 2		7	3
(船舶・海洋)	▲ 113			48	▲ 65
調 整 額		▲ 11		▲ 6	▲ 17
合 計	29	35	192	▲ 145	111

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合があります。

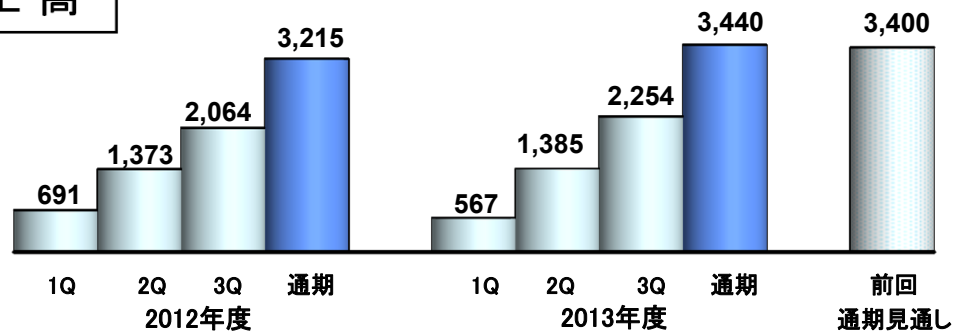
(億円/各期の金額は累計)
前回: 2014年2月4日公表の業績予想数値

主要事業: ボイラ, 原動機プラント, 陸船用原動機, 船用大型原動機, ガスプロセス,
原子力, 環境対応システム, 医薬

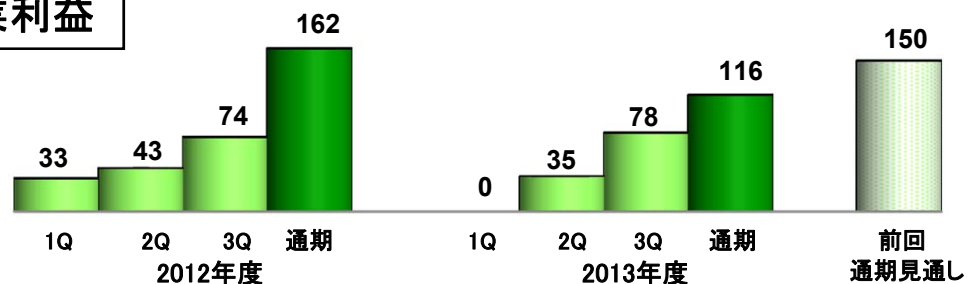
受注高



売上高



営業利益



2012年度の数値は、新報告セグメントに組替えて表示しております。

<対前期 増減内訳>

【受注高】

ガスプロセス, ボイラの増加により, 前期比64.7%増の4,946億円となりました。

【売上高】

原子力が減収となったものの, 原動機プラント, ボイラ, 陸船用原動機, ガスプロセスの増収や円高修正による増収効果により, 前期比7.0%増の3,440億円となりました。

【営業利益】

上述の増収の影響があったものの, 一部のボイラ工事のコスト増加や見積費等の販管費の増加により, 前期比28.3%減の116億円となりました。

<対前回通期見通し 増減内訳>

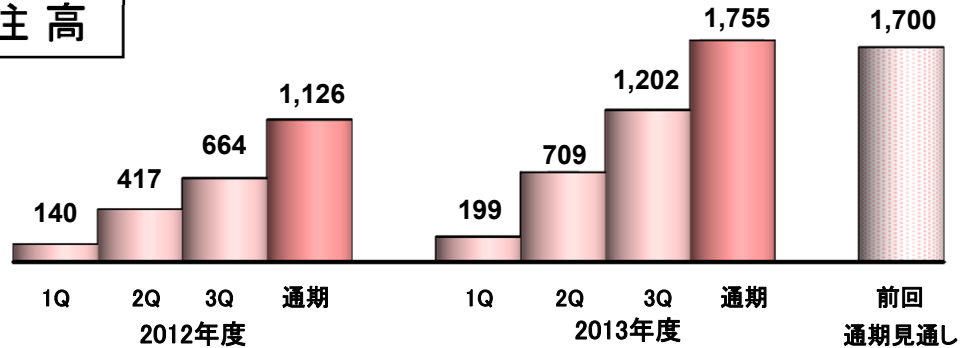
上述のボイラ工事のコスト増加等により, 営業利益は, 前回通期見通し比▲34億円の減益となりました。

社会基盤・海洋

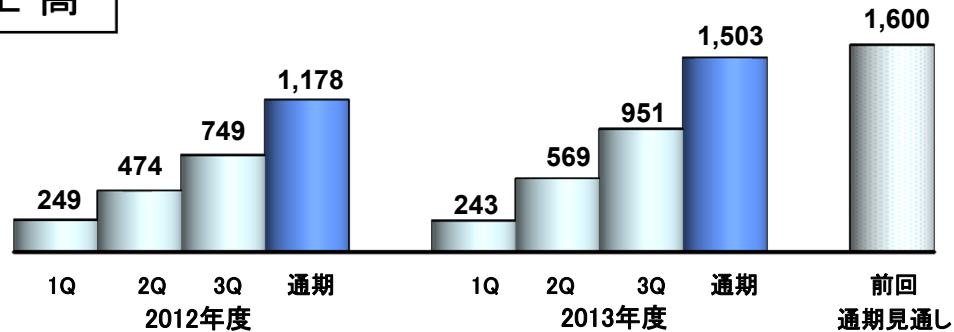
(億円/各期の金額は累計)
前回: 2014年2月4日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁, 水門, シールド掘進機, 交通システム, 都市開発,
F-LNG, 海洋構造物

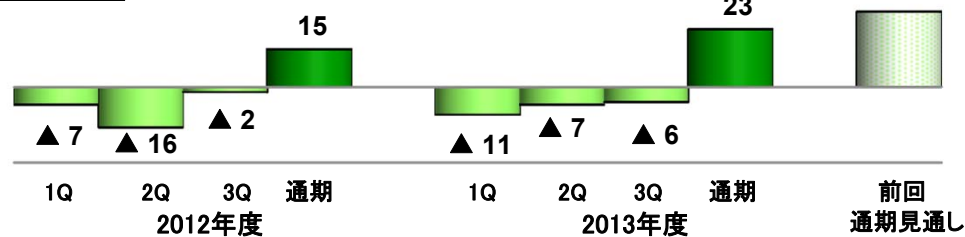
受注高



売上高



営業利益



<対前期 増減内訳>

【受注高】

海洋構造物, F-LNGの増加により, 前期比55.9%増の1,755億円となりました。

【売上高】

海洋構造物が減収となったものの, 橋梁の増収により, 前期比27.5%増の1,503億円となりました。

【営業利益】

国内橋梁で採算が悪化したものの, 海外橋梁が順調に推移していること及び都市開発の増益等により, 前期比52.0%増の23億円となりました。

<対前回通期見通し 増減内訳>

海洋構造物の投入遅れ等により, 前回通期見通し比▲97億円の減収, ▲7億円の減益となりました。

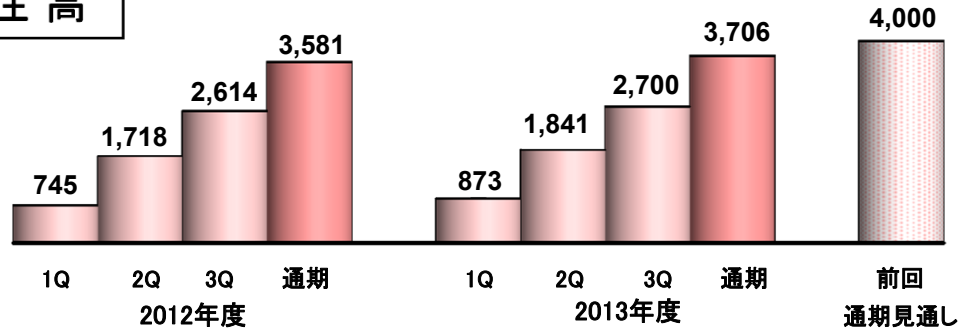
2012年度の数値は, 新報告セグメントに組替えて表示しております。

産業システム・汎用機械

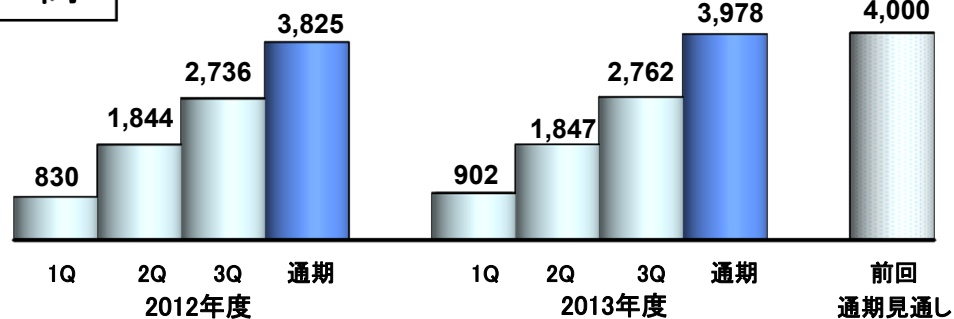
(億円/各期の金額は累計)
前回: 2014年2月4日公表の業績予想数値

主要事業: 船用機械, 物流システム, 運搬機械, パーキング, 製鉄機械, 産業機械, 熱・表面処理, 製紙機械, 車両過給機, 圧縮機, 分離装置, 船用過給機, 建機, 農機, 小型原動機

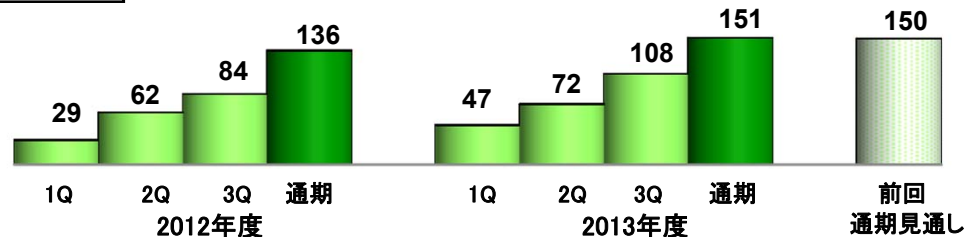
受注高



売上高



営業利益



2012年度の数値は、新報告セグメントに組替えて表示しております。

<対前期 増減内訳>

【受注高】

運搬機械の減少はあったものの、車両過給機、熱・表面処理の増加により、前期比3.5%増の3,706億円となりました。

【売上高】

製鉄機械が減収となったものの、車両過給機、熱・表面処理の増収により、前期比4.0%増の3,978億円となりました。

【営業利益】

販管費の増加はあったものの、車両過給機の増収による増益と建機の採算改善等により、前期比10.8%増の151億円となりました。

<車両過給機の販売台数> (万台)

販売年度	販売台数
2012年度	518
2013年度	554

<対前回通期見通し 増減内訳>

受注高は、運搬機械、製鉄機械の受注競争激化や製紙機械の期ずれ等により、前回通期見通し比▲294億円減少しました。

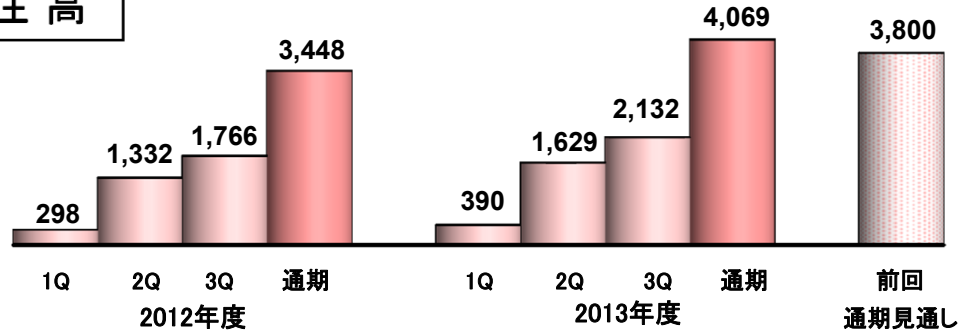
航空・宇宙・防衛

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用, 防衛機器システム

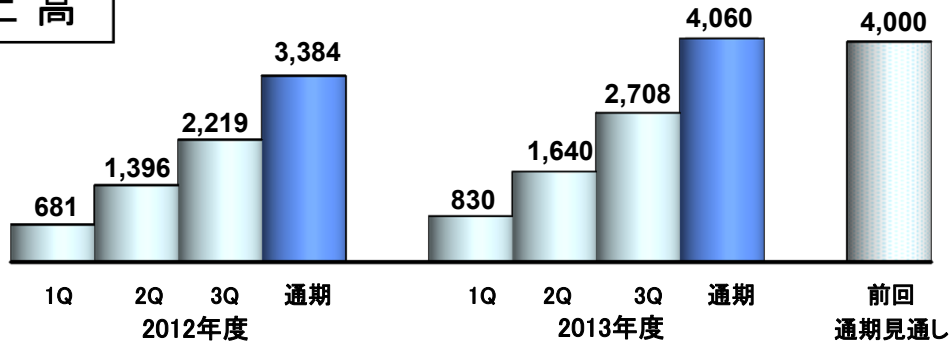
(億円/各期の金額は累計)

前回: 2014年2月4日公表の業績予想数値

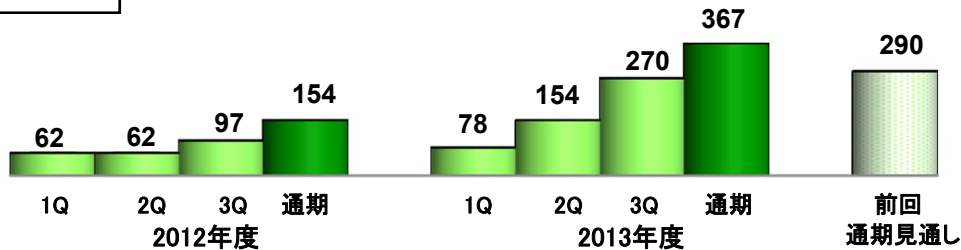
受注高



売上高



営業利益



2012年度の数値は、新報告セグメントに組替えて表示しております。

<対前期 増減内訳>

【受注高】

航空エンジンの増加により、前期比18.0%増の4,069億円となりました。

【売上高】

円高修正等による民間向け航空エンジンの増収により、前期比20.0%増の4,060億円となりました。

<民間向け航空エンジンの販売台数> (台)

販売年度	販売台数
2012年度	1,115
2013年度	1,199

【営業利益】

航空エンジンのコスト改善に加えて、円高修正等による増収効果が大きく寄与したことにより、前期比138.1%増の367億円となりました。

<対前回通期見通し 増減内訳>

営業利益は、民間向け航空エンジンのスペアパーツの増収による増益や採算改善、研究開発費の発生ずれ等により、前回通期見通し比+77億円の増益となりました。

貸借対照表・キャッシュ・フロー

貸借対照表

(億円)

	2012年度末	2013年度末	増減
資産合計	13,642	14,963	1,321
負債合計	10,649	11,338	688
(うち 有利子負債残高)	(3,538)	(3,578)	(39)
純資産合計	2,992	3,625	632
株主資本	2,827	3,322	495
その他の包括利益累計額	56	129	73
少数株主持分等	108	173	64
D/Eレシオ	1.18倍	0.99倍	▲0.19倍
ROIC	4.5%	5.3%	0.8%

有利子負債残高には、リース債務残高(2012年度:181億円, 2013年:183億円)を含んでおります。

ROIC(投下資本利益率)=(営業利益+受取利息・配当金)税引後/(自己資本+有利子負債)

キャッシュ・フロー

(億円)

	2012年度	2013年度	増減
営業キャッシュ・フロー	743	392	▲351
投資キャッシュ・フロー	▲610	▲622	▲12
フリー・キャッシュ・フロー	133	▲230	▲363
財務キャッシュ・フロー	▲31	113	145

(1) 海外売上高

(億円)

	2012年度	2013年度
アジア	1,232	1,580
中国	503	634
北米	1,473	2,130
中南米	528	185
欧州	930	1,522
その他	194	133
合計	4,863	6,185
海外売上高比率	38.7%	47.4%

(2) 研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)

	2012年度	2013年度
研究開発費	302	335
設備投資額	550	545
減価償却費	417	404

2015年3月期 通期連結業績見通し

前提為替レート 米ドル 100円
 ユーロ 135円

(億円)

	2013年度 実績	2014年度 見通し	増 減
受 注 高	14,589	15,500	911
売 上 高	13,040	14,400	1,360
営 業 利 益	532	650	118
経 常 利 益	532	570	38
当 期 純 利 益	331	350	19

(参考)為替感応度(為替相場1円の変動により、営業利益に与える影響額)
米ドル 14億円 ユーロ 0億円

研究開発費・設備投資額・減価償却費の見通し

(億円)

	2013年度実績	2014年度見通し
研究開発費	335	430
設備投資額	545	750
減価償却費	404	440

報告セグメント別 連結業績見通し(受注高)

(億円)

	2013年度実績	2014年度見通し	対実績 増減
資源・エネルギー・環境	4,946	5,400	454
社会基盤・海洋	1,755	1,800	45
産業システム・汎用機械	3,706	4,000	294
航空・宇宙・防衛	4,069	4,100	31
報告セグメント計	14,478	15,300	822
その他	623	800	177
調整額	▲ 512	▲ 600	▲ 88
合計	14,589	15,500	911

報告セグメント別 連結業績見通し(売上高・営業利益)

(億円)

	2013年度実績		2014年度見通し		対実績 増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
資源・エネルギー・環境	3,440	116	4,300	220	860	104
社会基盤・海洋	1,503	23	2,000	100	497	77
産業システム・汎用機械	3,978	151	4,000	100	22	▲ 51
航空・宇宙・防衛	4,060	367	4,000	280	▲ 60	▲ 87
報告セグメント計	12,983	658	14,300	700	1,317	42
その他	589	19	600	10	11	▲ 9
調整額	▲ 532	▲ 144	▲ 500	▲ 60	32	84
合計	13,040	532	14,400	650	1,360	118

2015年3月期見通し営業利益の前期比増減要因

(億円)

	売上高の 増 減	工事採算 の変動	為替の 変 動	販管費の 変 動	合 計
資源・エネルギー・環境	55	44	5		104
社会基盤・海洋	40	47		▲ 10	77
産業システム・汎用機械	▲ 35	4		▲ 20	▲ 51
航空・宇宙・防衛	20	▲ 62	5	▲ 50	▲ 87
報告セグメント計	80	33	10	▲ 80	43
そ の 他		1		▲ 10	▲ 9
調 整 額		84			84
合 計	80	118	10	▲ 90	118

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合があります。

IHI

Realize your dreams

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。